

関越自動車道（仮称）上里スマート インターチェンジ計画について



と き： 平成23年2月12日（土）午前10時30分～

ところ： 上里町役場 4階 大会議室

上 里 町

目 次

1 . 第4次上里町総合振興計画での位置付け	2
2 . 推進経緯	2
3 . スマートインターチェンジとは	2
4 . (仮称)上里スマートインターチェンジ設置の目的及び期待される 整備効果	3
5 . 対象車両(案)	4
6 . 利用できる方向(案)	4
7 . 利用可能時間(案)	4
8 . 計画図(案)	5
9 . 新聞記事	6

1．上里町総合振興計画での位置付け

第4次上里町総合振興計画前期基本計画の中で次のように位置づけております。

スマートインターチェンジ設置の推進

ETC車両を対象とした新しいタイプのインターチェンジであるスマートインターチェンジを、上里サービスエリアに新たに設置し、関越自動車道利用の利便性の向上を図ります。

2．推進経緯

平成21年4月24日(木) スマートIC相談会
町としてスマートIC設置を目指すため、勉強会等の協力を要望。

平成21年5月18日(月)～平成23年1月27日(木) 第1～7回スマートIC勉強会

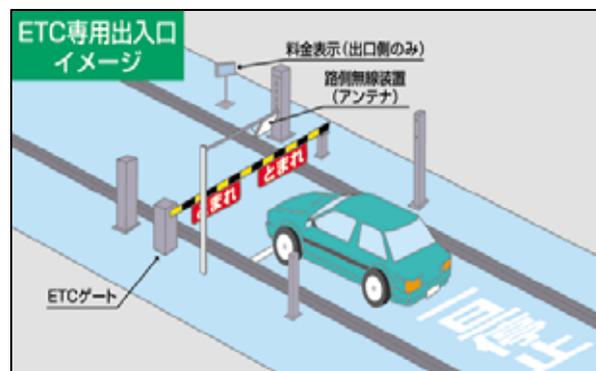
国土交通省大宮国道事務所、埼玉県県土整備部、上里町、東日本高速道路(株)関東支社でスマートIC設置に向けた協議を行った。

平成22年11月19日(金)～平成23年1月12日 第1～2回警察協議

埼玉県警交通規制課、本庄警察署、高速道路交通警察隊、埼玉県県土整備部、東日本高速道路(株)高崎管理事務所、上里町で、レイアウト案、交通誘導計画、接続道路、交差点等について協議を行った。

3．スマートインターチェンジとは

- スマートインターチェンジとは、ETC専用のインターチェンジのこと。
- 通常の有料道路におけるインターチェンジと比べて簡易なインターチェンジ構造とすることができ、管理人員も最小限となることから建設コスト・管理コストの削減が可能。
- 「SA・PA 接続型」と「本線直結型」の2種類があり、上里SAでは、「SA・PA 接続型」を計画しています。



スマートインターチェンジの整備効果

- 既設インターチェンジや周辺道路の安全かつ円滑な交通の確保。
- インターチェンジアkses時間の改善。
- 災害のおそれのある一般道路の区間の代替。
- 地域イベント等地域活性化施策の支援。
- 救急医療施設搬送等の時間短縮効果。
- 観光客の増加による観光振興や企業誘致等における産業振興等の地域振興への寄与。

4.(仮称)上里スマートインターチェンジ設置の目的及び期待される整

備効果

上里SAは、関越自動車道の練馬ICから75.5km地点にあり、南西側5.9kmには国道462号と結節する本庄児玉IC、北西側4.9kmには上信越自動車道藤岡ICが供用されています。また、北西側約9kmには、高崎JCTを基点とする北関東自動車道が部分供用しています。

上里町は関越自動車道、北関東自動車道、上信越自動車道のJCTに近接しており、広域高速交通の結節点にある好立地となっているが、広域高速交通と上里町を直接結ぶインターチェンジがなく、立地条件を十分に活かせていません。

現在、上里町では、地域活性化を図るため、「上里SA周辺地区整備事業」として、工業・農業の活性化に資する計画を進めており、上里SAにスマートICを設置することにより、町民等のインターチェンジへのアクセス時間が短縮されるほか次のような整備効果が期待できます。

1) 上里SA周辺地区産業団地の整備による工業の振興

下り線側には、上里SA周辺地区産業団地(仮称)(11.6ha)の分譲と合わせて、主要アクセス道路となるリバーサイドロードの整備に着手し、現在企業誘致活動を行っています。

上里SAにスマートICを整備することにより、良好な広域交通利便性が確保され、新規工場誘致による地域活性化が期待されます。

2) 農村公園、農業団体等の施設整備による農業の振興

上り線側には、農業振興のための農村公園を計画しており、地域で取れた農産物の直売などを通して、高速道路利用者との交流と憩いの場を整備する予定です。上里SAにスマートICを整備することにより、これらの農業振興に取り組むとともに、高速道路利用者をはじめ首都圏への農産物の販路拡大などにより、地域活性化が期待されます。

5. 対象車両(案)

ETC 車載器搭載の特大車(車長12m以内)
大型車、中型車、普通車、軽自動車等が対象です。

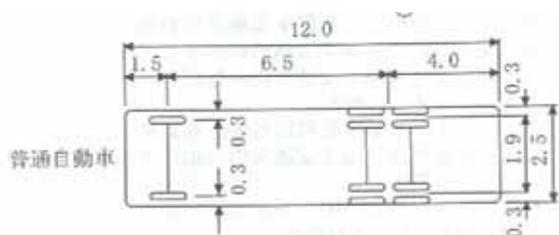


図 対象車両

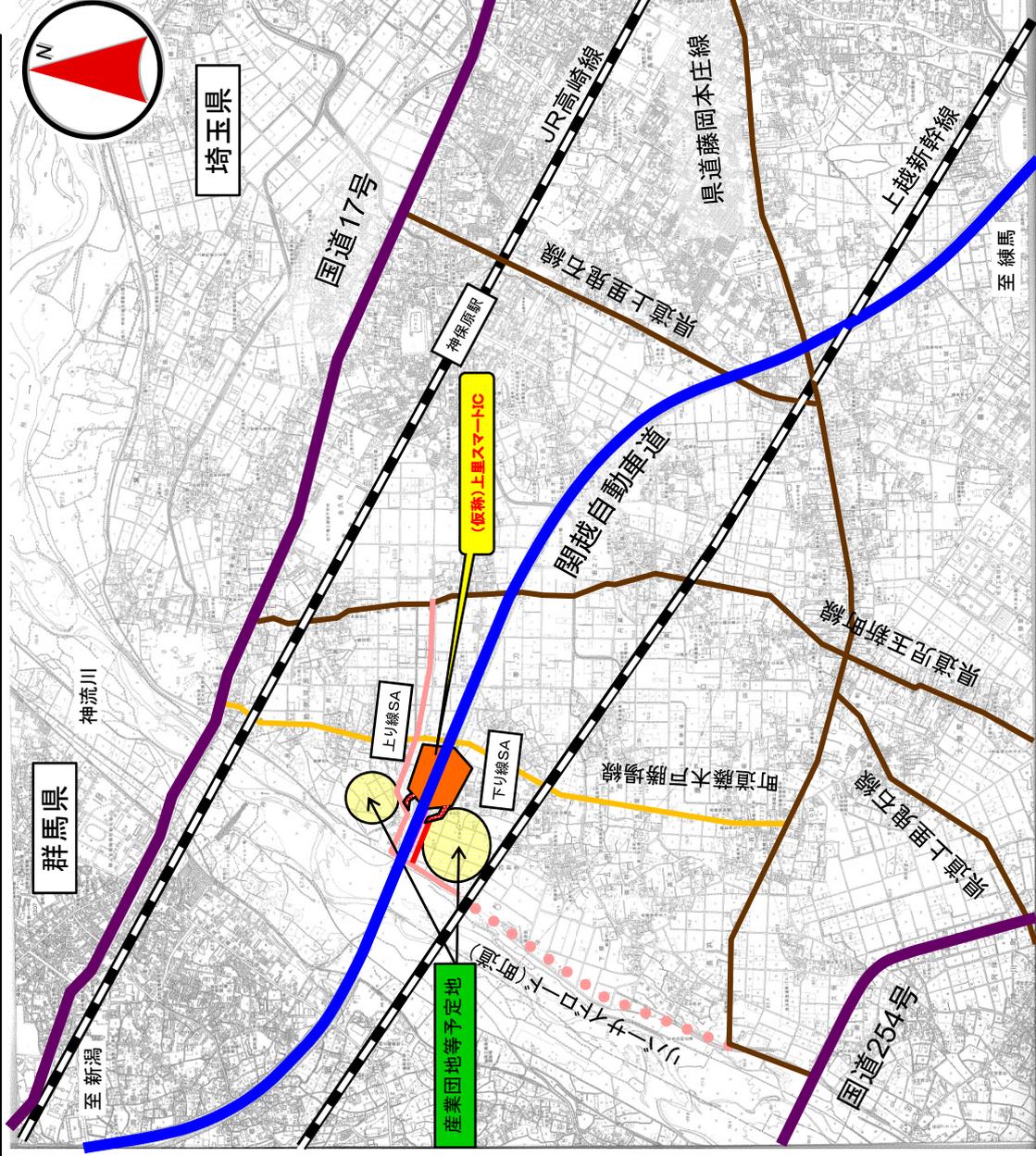
6. 利用できる出入り(案)

東京方面並びに新潟、長野方面の出入りができます。

7. 利用可能時間(案)

24時間利用可能予定です。

(仮称) 上里スマートインターチェンジ計画図



(仮)上里スマートIC

路線名：関越自動車道
 接続形式：SA・PA接続型

【凡例】

- ：高速道路
- ：国道
- ：一般県道
- ：町道
- ：町道の新設改良計画(1期工区)
- ：町道の新設改良計画(2期工区)

年内申請許可を連結

町部 里整 上土 県

上里へスマートIC

知事に設置要望活動展開

上里スマートIC設置を好事に要望、年度内に国など関係機関に許可申請提出を予定。上里町は関越自動車道上里サービスエリア内においてスマートIC設置を推進するため、昨年末に上田知事を訪れ要望書を提出し、その概要が示された。立ち会った県土整備部によると、大型車対応で24時間、新潟、長野、東京方面への出入りができる形態とする。町では産業団地整備を目的に周辺の17・6haの用地を購入、企業誘致を目指している。スマートIC設置により誘致活動にも弾みがつくと期待される。年度内に町が連結許可申請を国土交通省、東日本高速道路に提出を予定している。

関根上里町長が知事へ。スマートICは、通常大きな効果が得られるたスエリアは標高ICから75・5ha地点、大型車（12田以内）の対応で新ス道路整備への支援として、上里サービスエリアのほは中間に位置している上里サービスエリアに、スマートICを設置することで高速道路の有効利用が図られ、地域の活性化にも貢献するもので、「取り組むへの経緯を勘案いただき早期実現に向けた県の支援を要望する」というもの。

関根上里町長が知事へ。スマートICは、通常大きな効果が得られるたスエリアは標高ICから75・5ha地点、大型車（12田以内）の対応で新ス道路整備への支援として、上里サービスエリアのほは中間に位置している上里サービスエリアに、スマートICを設置することで高速道路の有効利用が図られ、地域の活性化にも貢献するもので、「取り組むへの経緯を勘案いただき早期実現に向けた県の支援を要望する」というもの。

上里町長ら、上田知事にスマートIC早期開設支援を要望。上田清司知事（左）にスマートIC設置の要望をする上里町の関根孝道町長（右）。

埼玉新聞 11.22.12.28

スマートIC早期開設支援を要望
上里町長ら、上田知事に
関越自動車道・上里サービスエリア（SA）にスマートインターチェンジ（IC）の設置を目指す上里町の関根孝道町長らが27日、県庁を訪れ、上田清司知事に早期開設に向けた支援を要望した。



上田清司知事（左）にスマートIC設置の要望をする上里町の関根孝道町長（右）。

て補助金の形で間接的な支援を実施する意向。県内のスマートIC設置は三芳町と所沢市が実現している。事業中は蓮田サービスエリアと坂戸サービスエリアの2カ所。ほか、寄居パーキングエリアにおいても設置の動きがあり、深谷市、美里町と寄居町が共同で昨年末に準備会を設置している。

なほ、知事への要望書提出には、小泉代議士と丸山眞義も出席した。県側は知事以外に成田県土整備部長らが同席。

実に伴う地域活性化が期待できる。上里SAは本庄児玉ICと藤岡（群馬県）ICのほは中間地点にあり、周辺地区では産業団地を整備する計画も進められている。

要望活動には小泉龍司衆院議員、丸山眞司県議も同席。関根町長は「スマートICは地域活性化の起爆剤となり、大きな期待が持てる。建設申請、許可に向けて県に力強い支援をお願いします」と上田知事に求めた。

（砂生敏二）